

鷺宮児童館 ☎58-7054

◆ラジオを作ろう

日 8月10日(土) 13時30分
 対 市内在住の小学4～6年生 定 15人(申込順)
 申込期間 7月18日(木)～25日(木)
 申込方法 直接または電話で、鷺宮児童館へ

◆チャレンジランド

- ①人間すごろく
 日 8月7日(水) 10時30分
- ②製作(季節の折り紙)
 日 8月1日(木) 10時30分
- ③電気教室(レモン電池を作ろう)
 日 8月6日(火) 14時
 持 レモンと実験したい野菜、おしぼり
- ④木工作
 日 8月21日(水) 10時30分
- ⑤紙工作
 日 8月28日(水) 15時

【共通】

場 ①鷺宮東コミュニティセンター ②～⑤鷺宮児童館
 対 市内在住の小学生 定 15人(申込順)
 申込期間 7月18日(木)～25日(木)
 申込方法 直接または電話で、鷺宮児童館へ

児童センター ☎21-8181

◆①小学生館外活動

日 8月22日(土) 10時 場 埼玉県自然学習センターほか
 内 自然を楽しく学ぶ、製菓工場見学 対 市内在住の小学生
 定 20人(申込順) 持 昼食、飲み物等
 申込期間 7月21日(日)～28日(日)
 申込方法 直接、児童センターへ(電話・代理申込不可)

◆②染焼(好きな陶器を作ろう)

日 8月3日(土) 13時30分
 定 12人(申込順) 費 100円(材料費)

◆③おもしろ化学実験(液体チッソの実験)

日 8月4日(日) 10時 定 12人(申込順)

◆④電気教室(炭電池を作ろう)

日 8月6日(火) 10時 定 16人(申込順)

◆⑤はがき作り(手すきのはがきを作ろう)

日 8月7日(水) 13時30分 定 10人(申込順)

◆⑥工作(木の電車を作ろう)

日 8月9日(金) 13時30分 定 15人(申込順)

◆⑦料理教室(クッキーのデコレーション)

日 8月21日(水) 13時30分
 定 10人(申込順) 費 100円(材料費)

【②～⑦共通】

対 市内在住の小学生(③は小学3年生以上)
 申込期間 7月14日(日)～21日(日)
 申込方法 費用を添えて、直接、児童センターへ(電話・代理不可)

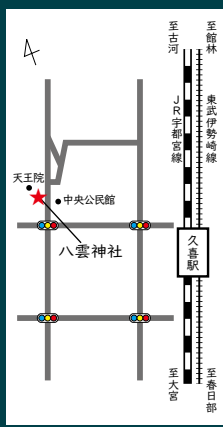
毎年7月12日と18日に久喜駅周辺で行われる「久喜提燈祭り」は、「久喜八雲神社の山車行事(天王様・提灯祭)」として市の無形民俗文化財に指定されています。八雲神社はかつて牛頭天王社と呼ばれ、夏の疫病除けのために行われた山車行事は「天王様の祭り」として親しまれてきました。この行事は、昼に人形山車、夜に提灯山車を引き回すことが大きな特徴です。この昼と夜とで山車を大きく転換するという特徴は、都市部の疫病退散を目的とした夏祭りでは全国的にも類例が少なく、埼玉県では市内の山車行事が唯一と言えます。



久喜駅西口に集まる提灯山車

連載 久喜歴史だより(第92回)
 久喜八雲神社の山車行事
 (天王様・提灯祭)

「天王様の祭り」は元々神輿が町内を巡るもので、その起源は江戸時代の享保年間(1716～1736)までさかのぼると考えられます。それに対して、山車行事は天明3年(1783)から始められたという伝承があるものの、江戸時代までさかのぼることを示す史料はこれまで見つかっていませんでした。しかし、平成28～30年度に市教育委員会が行った調査によって天保10年(1839)の記述に山車の部位を表すものが見つかり、安政2年(1855)には6台の山車が祭りに参加したという史料なども見つかったことで、江戸時代に山車行事が行われていたことが史料からも明らかになりました。このような最新の調査成果をまとめた報告書『久喜八雲神社の山車行事(天王様・提灯祭)』を刊行しました。この報告書は文化財保護課などでお求めいただけるほか、市内の各図書館でもご利用いただけます。ぜひ一度ご覧いただき、久喜提燈祭りの深い歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



問合せ 教育委員会文化財保護課文化財・歴史資料係(内線382)